

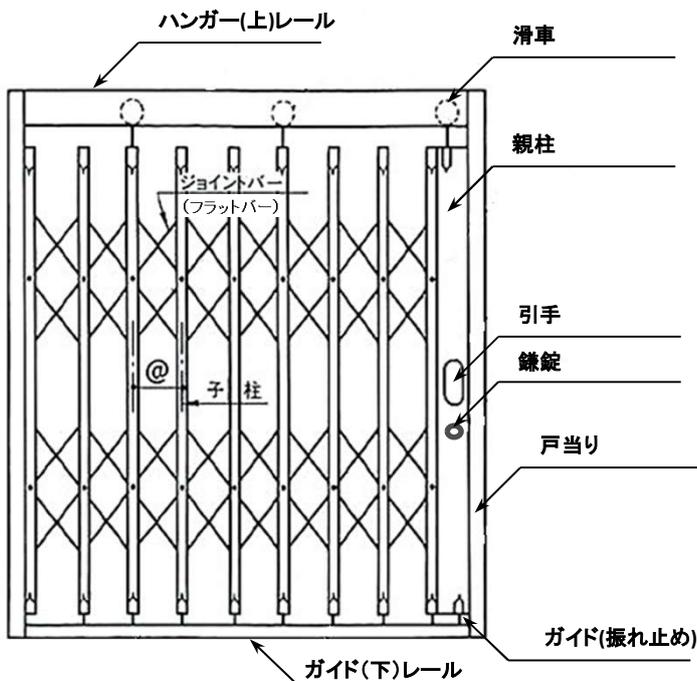
# 取 付 説 明 書

## 工事者用

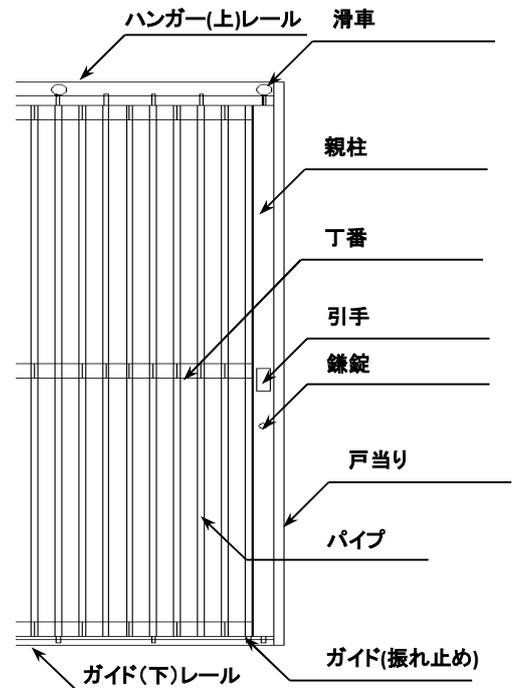
枠の設置方法、本体の取付け方法

—各部の名称—

フォールディングゲート



パイプゲート



はじめに添付の部品表と同梱部品を確認願います

取付工事にあたっては、本説明書をお読みいただき取り付け不良による人身事故や物損事故、不具合等が起きない様に取付をしてください。

## 目次

1. 取付上の注意	1 ページ
2. 安全上の注意	2, 3, 4
3. 高さ(H)と巾(W)の取りかた	4
4. 上レールの取付例	4
5. カギ受け柱と下レールの合せ方	5
6. 本体の吊り込み方	5
7. 継ぎ方法と固定方法	6

## 1. 取付上の注意

- 必ずお守りください。  
本製品の取付において、表記と異なった方法による取付けや、表記を無視した取付けによって生じる  
危害や損害程度を以下の表示で説明します。

 <b>警告</b>	この表示箇所は、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性がある場合です。
 <b>注意</b>	この表示箇所は、傷害や物的損害などに結びつく内容です。

- 次の絵表示で区分し、お守りいただきたい内容の種類を説明しています。

	絶対に行わない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 2. 安全上の注意

### ⚠ 警告

下地は各製品の総重量を十分に支えられるものを入れる



- |       |                         |                  |
|-------|-------------------------|------------------|
| ・製品重量 | フォールディングゲート (ピッチ150mm例) | パイプゲート (径15mm例)  |
|       | ・ステンレス製 約10Kg/1㎡        | ・ステンレス製 約 7Kg/1㎡ |
|       | ・スチール製 約10Kg/1㎡         | ・アルミ製 約 6Kg/1㎡   |
|       | ・アルミ製 約 6Kg/1㎡          |                  |

上下レールは必ず水平に取り付ける  
戸当り柱及び固定柱は垂直に取り付ける

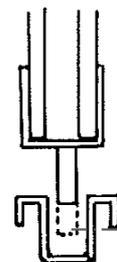
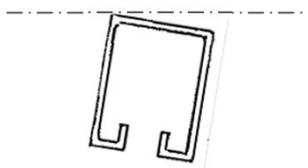


- ・ゲートが自然に下がり、挟まれたり、当たったり、思わぬ事故につながります。
- ・動きが悪くなったり、鍵が掛かりにくくなります。
- ・フレ止が外れたり、動かなくなり危険です。

水平



水平



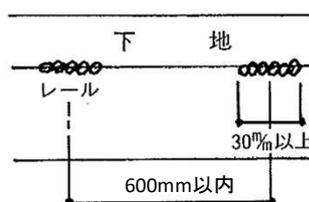
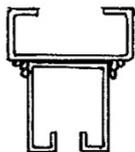
ストローク

水平

上レールの溶接は600mmピッチ以内、30mm以上溶接する



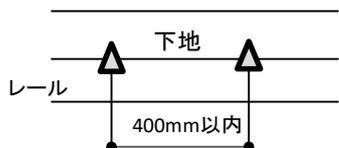
- ・溶接が少ないと外れて危険です。



上レールのビスどめは400mmピッチ以内、  
太さ4mm以上・長さ25mm以上のビスでとめる



- ・サイズが小さいと外れて危険です。



上レールのビスどめは、H寸法2,500mm以上または  
W寸法4,000mm以上には強度が不足するため使わない



## 固定柱は上・中・下の3か所以上固定する

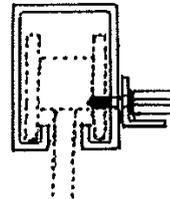


- ・固定箇所が少ないと外れて危険です。

## ビス等をレール内に露出させない



- ・滑車の走行を妨げるビスがあると、動かない、変形し脱落するなど危険です。



## 溶接時は滑車を近づけない



- ・滑車が変形し、動かない、脱落するなど危険です。

## △注意

## 塗装の傷んだところや継ぎ部分は必ず補修塗料で補修する



- ・取付終了後、さびの発生を防ぐため溶接部分、塗装の傷んだところ、継ぎ部分のリベット、プッシュナットは必ず補修塗料で補修してください。後日クレームの原因になります。

## 強粘着のテープを張らない



- ・取付終了後、枠回りや本体にテープを張る場合は強粘着のテープを使用しない。塗装がはがれることがあります。

## 酸洗いの水をかけない



- ・タイル壁の場合酸洗いする事があり、その水がかかると2、3日でサビが発生することがあります。酸洗いの水がかからないようにしてください。

## レール芯は壁から離して取り付ける



- ・壁等からレール芯までは下記以上のクリアランスを設けてください。近づけすぎると壁等に当たり動きがわるくなったり、壁等を傷つけることがあります。

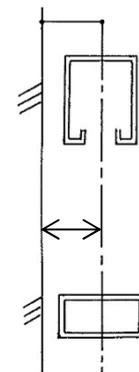
### ● フォールディングゲート

スチール  
ステンレス 50mm  
アルミ

### ● パイプゲート

ステンレス  
アルミ 100mm

\* ガイドレールがある場合

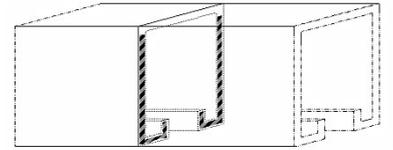


## 上・下レールに段差を発生させない



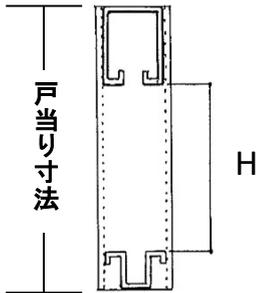
- ・レールを継ぐときは、滑車やフレ止めの円滑な動作のために、触れる位置に段差が発生しないようにすりあわせる。

上レール

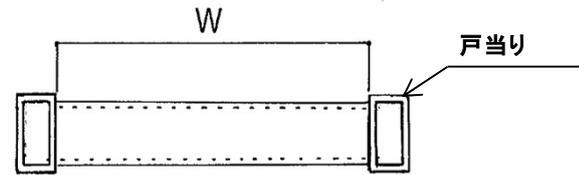


## 3. 高さ(H)と巾(W)の取りかた

- ・H寸法は上レールと下レールの内々寸法です。

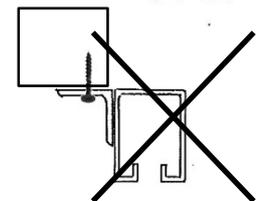
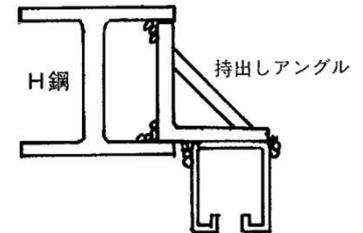
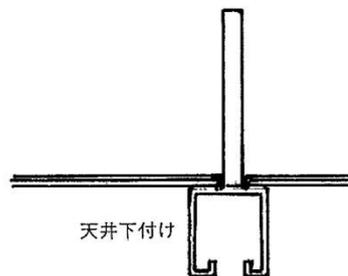
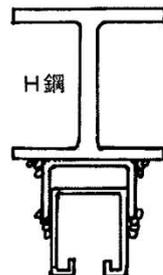
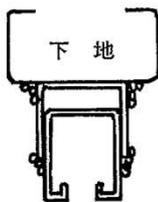
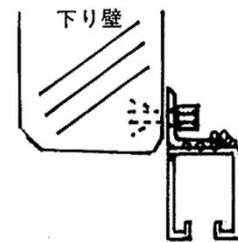
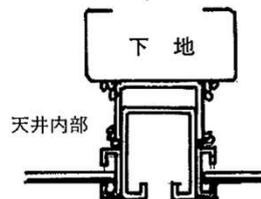
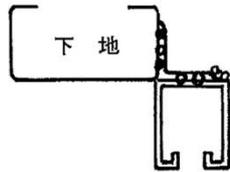


- ・W寸法は固定柱の内々寸法です。



※調整範囲: 上・下レールは特別の指示が無い限り固定柱の外々寸法にて出荷しています。不要の場合は切断してください。

## 4. 上レールの取付例

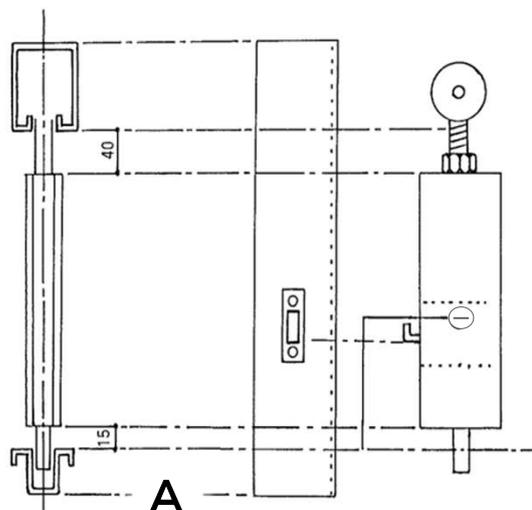


\* 片荷になる取り付けをしない

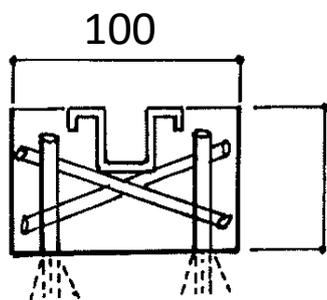
## 5. カギ受け柱と下レールの合せ方

カギ受け柱(戸当り)は、柱の下部と下レールの下部をあわせるよう設計されています。A

\*カギ受け柱(戸当り)を切断する場合は上部の切り詰めで調整し、鍵受けの高さが変わらないようご注意ください。



参考: 下レールの研り(はつり)寸法

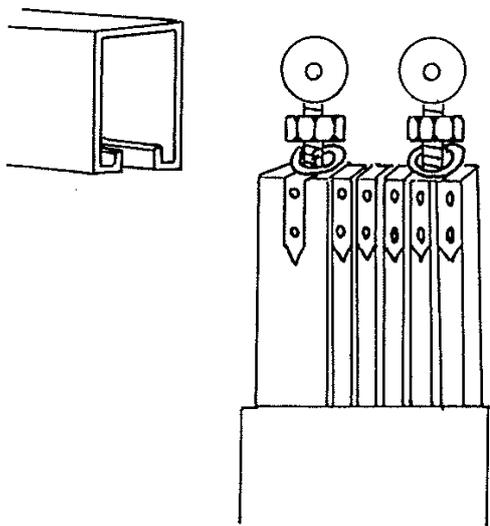


50 巾100mm 深さ50mm 程度の寸法が作業しやすいでしょう。

## 6. 本体の吊り込み方

方法1:

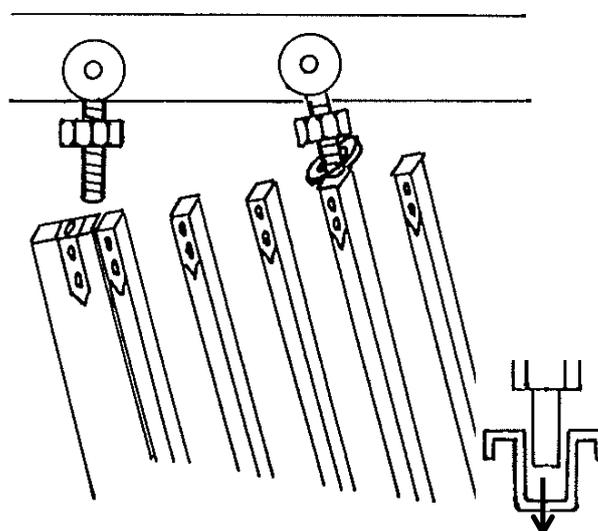
上レールの一部を残し、そこから下図のように滑車を付けて流し込む。その後残りの上レールを取り付ける。



方法2:

上レールを取り付ける時、先に滑車を入れておく。上・下レール取付後、下図のようにつり込む。

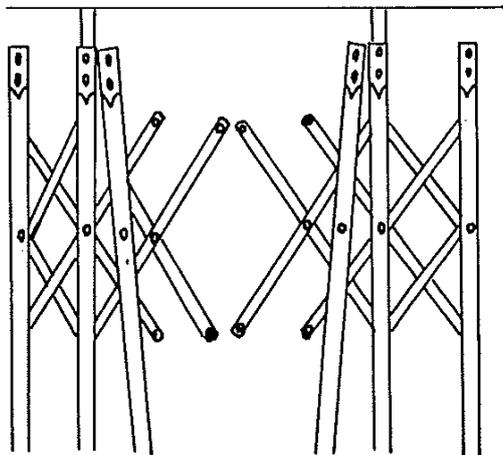
下レールの溝に下部フレ止めをいれて立てるとグラつきにくく立てやすい。



## 7. 継ぎ方法と固定方法

### フォールディングゲート

1. フラットバーを挟んで立てる

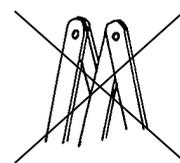
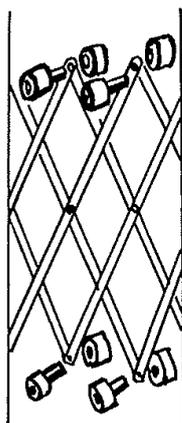


2. フラットバーの端部をとめる

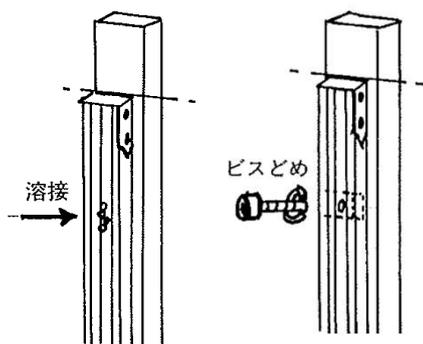
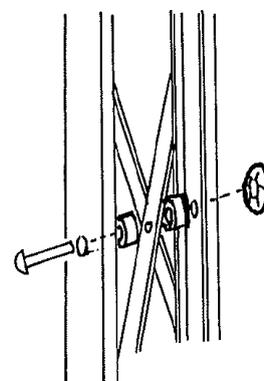
**フラットバーの内外逆に注意する**



・破損の原因になります。



3. フラットバーの中央をチャンネルで挟んでとめる

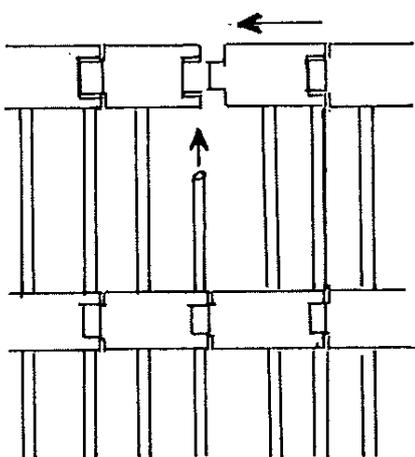


**固定方法: 標準品は溶接固定仕様です。**

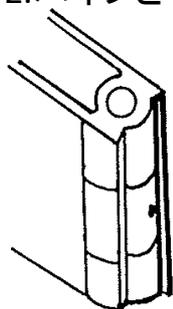
固定する前にたたんだ状態で墨を打ち、再度開いて墨に合わせて固定するとやりやすい。

### パイプゲート

1. 先に継いでから吊る  
後ではパイプが通らなくなります



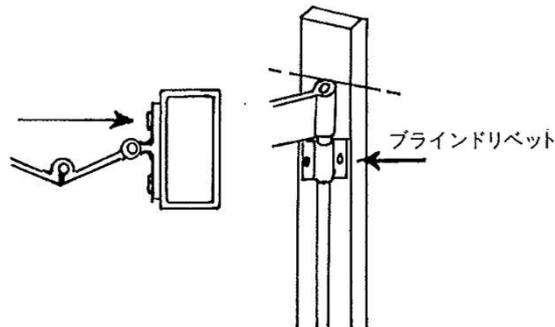
2. パイプと丁番をとめる



#### 固定方法

固定する前にたたんだ状態で墨を打ち、再度開いて墨に合わせて固定するとやりやすい。

ブラインドリベット



株式会社日創技建

千葉工場 〒273-0018 千葉県船橋市栄町2-3-16

TEL 047(435)0179 FAX 047(435)1539

E-mail [nisso@miki.ne.jp](mailto:nisso@miki.ne.jp)

URL <http://www.nissogiken.co.jp>